

2024年度 2学年 各教科の学習計画（3学期）

	単元	目標	評価の観点	評価の対象
国語	≪小説≫ ・走れメロス ≪説明文≫ ・モアイは語る ≪古文≫ 漢詩の風景 ≪文法≫ ・助詞・助動詞	・登場人物の言動の意味を考え、そこに表れたものの見方や考え方を捉える。 ・意見を裏付けるための、適切な根拠の在り方について理解する。 ・漢詩を朗読し、独特の言葉遣いや調子を生かして読み味わう。 ・付属語の特徴を理解する。	・描写や会話に着目しながら、登場人物の人物像をとらえることができる。 ・自分の知識や考えと比べながら、文章の構成や論理の展開を吟味することができる。 ・漢詩の形式や訓点等基本的な知識が身についている。 ・付属語の特徴をおさえ、適切に使うことができる。	○授業プリント等の課題提出 ○暗唱テスト ○発表態度 ○教科書ワーク ○漢字テストのやり直し ○定期テスト
社会	（歴史分野） ○第4編 近世の日本と世界 ・江戸幕府の成立と東アジア ・産業の発達と元禄文化 ・幕府政治の改革と農村の変化 ○第5編 近代の日本と世界 第1章 日本の近代化 ・欧米の発展とアジアの植民地化 ・近世から近代へ ・近代国家へのあゆみ ・立憲制国家の成立 ・日清・日露戦争と東アジアの動き	（歴史分野） ・江戸幕府の全国支配の仕組みについて理解する。 ・16世紀以降の欧米の市民革命について理解しアジアの植民地化へどのようにつながったのかを知る。 ・外国船の接近が、倒幕への動きを加速させたことを知る。 ・明治維新によって、日本の近代化が行われたことを理解する。 ・立憲制国家を目指す日本の動きを理解する。 ・欧米列強の動向やアジアをめぐる対立を理解し、日清戦争や日露戦争がおこった経緯を理解する。 ・近代日本の社会と文化の特色を理解する。	（歴史的分野） ・江戸幕府の仕組みを理解している。 ・欧米の発展とアジアの植民地化の過程を説明できる。 ・倒幕から日本の近代化への歩みを理解している。 ・日本が立憲制国家になるまでの歩みを理解できる。 ・アジアをめぐる欧米の対立や日清戦争・日露戦争が起こった経緯が理解できる。 ・近代日本の社会や文化の特色を説明できる。	・提出物 ・定期テスト ・小テスト ・レポート ・授業態度
数学	・三角形と四角形 ・データの活用 ・確率	・平行四辺形の性質を理解し、それらを使って図形の角の大きさや線分の長さを求めたり、図形の性質の証明をしたりすることができる。 ・平行四辺形になるための条件を理解し、それらを使って図形の性質を証明することができる。 ・長方形、ひし形、正方形の定義を理解し、それらの性質をまとめたり、利用したりすることができる。 ・平行線と三角形の面積の関係、面積が等しい三角形について理解し、それを利用することができる。 ・四分位数や四分位範囲の必要性と意味を理解し、データの値からそれらを求めることができる。 ・箱ひげ図の必要性と意味を理解し、与えられたデータの箱ひげ図をかくことができる。 ・各場合の起こることが同様に確からしい実験や観察において、それをもとに得られる確率の必要性と意味を理解し、確率を求めることができる。 ・具体的な事象について、確率を用いて解決ができる。	・平行四辺形の性質や平行四辺形になるための条件を論理的に考察し、証明することができる。 ・底辺を共有する三角形の面積の関係をもとにして、面積を変えずに図形を変形することができる。 ・平行四辺形、長方形、ひし形、正方形の間の関係を理解している。 ・面積が等しい三角形について学んだことを、生活や学習に生かそうとしている。 ・四分位数、四分位範囲、箱ひげ図の必要性と意味を理解している。 ・四分位範囲や箱ひげ図から分布の傾向を読みとり、批判的に考察し判断することができる。 ・データの活用で学んだことを、生活や学習に生かそうとしている。 ・樹形図や表などを利用して、起こりうるすべての場合を求めることができる。 ・同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして確率を求めることができる。	・定期テスト ・授業への取組 ・提出物 ・小テスト
理科	化学変化と原子・分子 4章 化学変化と物質の質量 地球の大気と天気の変化 1章 地球をとり巻く大気のように 2章 大気中の水の変化 3章 天気の変化と大気の動き 4章 大気の動きと日本の四季	・2種類の物質が反応して結びつく実験を行い、反応前とは異なる物質が生成することを見いだす。 ・霧のでき方を調べ、温度によって空気中の水の状態が変化することを理解する。 ・空気中の湿り気の割合を湿度で表し、湿度と水蒸気量によって変化することを理解する。 ・雲のでき方を、空気の垂直方向の動きや体積の変化に伴う温度変化と関連づけて理解する。 ・雲の発達が降水の原因になることを理解する。 ・高気圧や低気圧付近の風を大気の動きとしてとらえ、それらと天気の間を見出す。 ・寒冷前線や温暖前線の通過に伴う天気の変化をとらえる。 ・日本付近の低気圧や高気圧の移動や高層の大気の動きから、天気の変化の規則性を偏西風と関連づけて理解する。	・化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、2種類の物質が結びつく化学変化や酸化、還元、化学変化と熱についての基本的な考え方や法則を理解している。 ・水蒸気を含んだ空気から水滴が現れる身近な事象を進んで見出すことができる。 ・雲が発生する条件を見出し、説明することができる。 ・露点や湿度について正しく理解し、測定することができる。 ・水蒸気を含んだ空気から水滴が現れるしくみを理解する。 ・上昇気流や下降気流の例とその原因を理解し、知識を身につけている。 ・前線の通過に伴う天気の変化と気圧の間を見出すことができる。 ・低気圧や高気圧の移動の規則性を見出すことができる。 ・天気図から天気や気圧・風向・風力を読み取ることができる。	・授業への参加状況 ・単元レポート ・レポート ・ワーク ・定期テスト ・小テスト

	単 元	目 標	評価の観点	
音 楽	・鑑賞 総合芸術 ・独唱 ・「心の歌」 ・アルトリコーダー	・西洋の総合芸術、日本の総合芸術の特徴を知り、登場人物の気持ちを想像しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ・曲想を感じ取りながら、表現の工夫をする。 ・情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう。 ・アンサンブル、音のかけ合いや音の重なり方に注目し、曲想にふさわしい表現を工夫する。	・西洋の総合芸術、日本の総合芸術の特徴をしり、登場人物の気持ちを想像しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。 ・曲想を感じ取りながら、表現の工夫をする。 ・日本歌曲のよさや美しさを感じ取れている。 ・アンサンブル、音のかけ合いや音の重なり方に注目し、曲想にふさわしい表現を工夫することができる。	・授業中の取り組み ・期末テスト ・実技テスト ・提出物
	・陶芸 ・木彫（木箱） ・仏像に宿る心	・素焼きの陶器に絵付けをおこなう。 ・木の材質を理解し、手順に沿って彫刻する。 ・木箱の用途や材料に応じてデザインをアレンジし表現を工夫する。 ・彫刻刀を正しく安全に扱うことができる。 ・仏像彫刻のよさや美しさ、作者の意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造について考え、鑑賞する。	・自分のイメージした形や柄が表現できているか。 ・木の性質を理解し、用具を正しく安全に使うことができる。 ・材料や用途に合わせてデザインを検討し、調整することができる。 ・丁寧に最後まで作品に向き合い完成させることができる。 ・仏像彫刻の特色、よさや美しさなどに関心を持ち、意欲的に鑑賞に取り組む。	・授業への取り組み ・作品への取り組み ・作品や提出物のくふうや技能 ・授業の準備態度 ・期末テスト ・レポートなど
保 健 体 育	体育分野 サッカー ダンス 長距離走	・自己目標を設定し、自己ベストの更新のために自主的・自発的に取り組む。 ・正しい技能を身につける。 ・意欲的に取り組む。 ・チームで協力し練習する。 ・各種目の目標を達成する。	・正しい服装・ふさわしい態度で授業に参加することができる。 ・積極的に各種目に取り組む。 ・プリント整理ができる。 ・基礎技術を身につけ、ゲームに参加できる。 ・基本的なルールを覚える。	・授業中の意欲、態度 ・服装、忘れ物 ・ワークプリント提出 ・準備、片付け ・授業プリントの内容
	保健分野 4章 傷害の防止 (5. 自然災害に備えて～) 体育編 2章 スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	・自然災害や、応急手当について理解する。 ・スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について理解する。	・忘れ物をせず、チャイム着席が毎回できる。 ・ノート整理がきちんとできる。 ・基本項目が理解できている。	・実技テスト ・期末テスト
技 術	エネルギー変換に関する技術	・エネルギー変換の技術を知る。 ・便利な生活を考え直す。 ・環境問題を考える。	・エネルギー変換について理解する。 ・電気機器の保全ができる。 ・道具を適切に操作し製品を完成させる。	・授業態度 ・定期テスト ・提出物 ・延長コード ・ラジオ
家 庭	私たちの消費生活	・消費者を支えるしくみ ・商品購入のプロセスニーズとウォンツの違いを知る。	・家庭生活における消費について知り、毎日の消費生活を過ごす力を身に付ける。 ・消費者を支える法律・制度・機関の必要性を知り、毎日の生活に活かす力を身に付ける。	・授業中の態度 ・ワーク、プリントなどの提出物 ・期末テスト
英 語	・Amazing Australia ・Staging a Musical ・Daily Life7,8 ・Let's Read2,3	・教科書の本文の読み方、意味を理解する。 ・英語で読まれた情報を正しく聞き取る。 ・学習した本文を強弱をつけて読むことができる。 ・比較級・最上級、受動態などそれぞれの用法を理解し、英語で表現することができる。	・教科書本文を正しく読む事ができる。 ・教科書本文を手掛かりを用いて正しく日本語から英語にできる。 ・教科書本文を手掛かりを用いて正しく英語から日本語にできる。 ・学習した文法を理解し、それらを用いて英語で表現することができる。	観点1 ・定期テスト（単語・熟語、文の組み立てなど）、単元テスト、小テスト、発表など 観点2 ・定期テスト（英作文、リスニング、長文読解など）、単元テスト、小テスト、発表など 観点3 ・宿題、冬休み課題、ノート、ワーク、レポート ・小テスト ・授業中の発言、発表による加点